

2019年度 シラバス

教科	地歴・公民	科目	世界史B	学年	3
				コース等	S文系
	使用教科書		『世界史B』 東京書籍	履修単位数	5
学習目標	現在、世界各地で発生する様々な戦争や紛争、環境といった諸問題に関心を持ち、その原因を考察する力を身につけることを目標とする。そのための知識を身につけ、歴史的関心を高め、客観的なものの見方を身につける。記録や事実の積み重ねを通じて、考えるとは何かを考えるきっかけをつくる。			評価の観点	定期テスト・小テストの結果および授業態度・発言等を総合的に判断する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	第14章 近世のヨーロッパ ・18世紀のヨーロッパの社会	17世紀の危機から、新しい世界観や近代科学が形成されたことを学び、その後の18世紀からはじまる経済成長や現代まで続く国際政治の潮流が始まることを理解する。 主権国家体制の成立、宗教改革と対抗宗教改革の動きを、当時の国際関係の視点にたって考察する。 三十年戦争とその影響について理解し、ウェストファリア条約の意義について考える フランス革命の展開の中で、革命の性質がどのように変わったかを考える。			
5	第15章 欧米の工業化と国民国家 ・激化する経済抗争 ・フランス革命とウィーン体制 《第1回定期試験》				
6	第16章 産業資本主義と帝国主義 ・第2次産業革命 ・植民地獲得競争	19世紀後半から、科学技術の発達が本格化し、発展した産業資本主義諸国の経済が膨張していくことを学ぶ。 産業革命の背景や展開、産業革命によって新たに発生した諸問題について理解を深める。 アジアにおける改革運動について、ヨーロッパの影響を念頭に置きながら理解を深める 資源・市場・投資先を求めて、世界各地を支配下に置こうと競合し、2度にわたる未曾有の大戦争を引き起こしたことを把握する。			
7	第17章 アジアの変革 ・アジアの植民地化と民族運動				
9	第18章 世界戦争の時代 ・第一次世界大戦 《第2回定期試験》				
9	・ヴェルサイユ体制 ・世界恐慌 ・第二次世界大戦	世界恐慌の背景と、ニューディール政策やブロック経済政策など各地の対応について理解する。 第二次世界大戦の性格について、第一次世界大戦とも比較しながら考える。 世界戦争の後、米ソを中心とした東西両陣営による「冷戦」とともに、先進国と発展途上国との間に南北問題が生まれたことを理解する。 原子力の利用や宇宙開発などの科学技術、医療技術やバイオテクノロジーと倫理観の問題、人工知能と労働のあり方など、情報通信技術の発達と展開を理解し、それらの課題を考察する。			
10	第19章 世界秩序の形成				
11	・冷戦 第20章 ・情報革命とグローバル化				
12	センター試験対策 2次試験対策	個別入試問題の演習を行い、受験に備える。			
1					
2					
3					
副教材	『グローバルワイド最新世界史図表初訂版』 第一学習社 『世界史 重要語句チェックリスト』 啓隆社 自作プリント				

2019年度 シラバス

教科	公民	科目	政治経済	学年	3
				コース等	S文系
	使用教科書		『高等学校改訂版政治・経済』 第一学習社	履修単位数	4
学習目標	<p>・人間の尊厳と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立って、現代社会と人間についての理解を深める。</p> <p>・現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。</p>			評価の観点	<p>定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。</p>
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	<p>・民主政治の基本原則と日本国憲法</p> <p>日本国憲法の基本原則</p> <p>基本的人権の保障と新しい人権</p>	<p>・日本国憲法の3大原則を改めて振り返り、憲法によって保障される国民の権利にはどのようなものがあるのか、また新しく必要とされている権利とはどのようなものなのかを学ぶ。</p>			
5	<p>国会の組織と機能</p> <p>内閣の機構と機能</p> <p style="text-align: center;">《第1回定期試験》</p>	<p>・日本国憲法では国会と内閣の関係をどう規定しているのか、それぞれの役割と課題について学ぶ。</p>			
6	<p>裁判所の機能と人権保障</p> <p>地方自治制度と住民の権利</p> <p>政党政治と選挙</p> <p>世論と現代政治の課題</p>	<p>・国会の持つ立法権と内閣の持つ行政権に対し、裁判所の持つ司法権はどのような役割があるのかを学ぶ。</p> <p>・議会政治の中心である政党と、議会の代表者を決める選挙の仕組みについて学ぶ。</p>			
7	<p>・現代の国際政治と日本</p> <p>国際政治の動向</p> <p>国際平和と日本の役割</p> <p style="text-align: center;">《第2回定期試験》</p>	<p>・改めて考える機会が多くなっている、国際社会における日本の果たすべき役割について学ぶ。</p>			
9	<p>・経済社会の変容と経済のしくみ</p> <p>資本主義社会の発展と社会主義経済の変容</p> <p>市場経済の機能と限界</p>	<p>・現代の国際社会で中心となっている経済システムである資本主義の特色と、一時期世界で広がっていた社会主義という経済システムの特色を比較する。</p> <p>・資本主義の特色とその課題について、現在の日本経済を中心に学ぶ。</p>			
10	<p>経済成長と景気変動</p> <p>財政・金融・物価</p>	<p>・政府が行う財政政策、日本銀行が行う金融政策を学ぶことを通し、政府や日本銀行が何を目的としてそのような政策を行うのか、その成果と課題を理解する。</p>			
11	<p>日本経済の歩み</p> <p>中小企業・農業・消費者問題</p> <p>労働問題と労働関係の改善</p> <p>社会保障制度の充実</p>	<p>・戦後の日本経済を学び、農業や中小企業など日本の産業が抱える問題点を明らかにする。</p> <p>・消費者・労働者・社会保障を学ぶことを通し、自らが社会に出た際、どのようなことに問題意識を持つべきかを学ぶ。</p>			
12	<p>・国民経済と国際経済</p> <p>国際経済のしくみと現状</p> <p>為替相場のしくみ</p> <p>国際協調と国際経済機関の役割</p>	<p>・日々変化する国際経済の基礎を学び、現在の国際経済が、国際政治とも密接にかかわっていることを学ぶ。</p>			
副教材	<p>『改訂版政治・経済学習ノート』 第一学習社</p> <p>『最新政治・経済資料集』 第一学習社</p>				

2019年度 シラバス

教科	公民	科目	現代社会	学年	3
				コース等	S理系
	使用教科書		『現代社会』東京書籍	履修単位数	4
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊厳と科学的な探求の精神に基づき、広い視野に立って、現代社会と人間についての理解を深める。 ・現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としてのあり方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。 			評価の観点	定期試験を軸に、授業への意欲的な参加や、関心の高さ、授業態度、社会に対する関心度などを、総合的に評価する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	・わたしたちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における、地球環境・資源・エネルギー・科学技術・情報など様々な問題について学ぶ。 			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と青年の生き方 よりよく生きることを求めて 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学の立場から、「青年期」に特有の課題について学ぶ。 ・「よりよく生きる」というキーワードから、哲学・宗教・文化について、日本や世界でどのようなことが考えられてきたのかを学ぶ。 			
《第1回定期試験》					
6	日本国憲法と民主政治 <ul style="list-style-type: none"> ・民主政治とは ・日本国憲法の基本原理 ・日本の政治機構 	<ul style="list-style-type: none"> ・民主主義を実現するための民主政治の歴史と現在の特色について学ぶ。 ・日本国憲法の特色と、憲法に基づきどのような政治が行われているのかを学ぶ。 			
7	<ul style="list-style-type: none"> ・現代政治の特質と課題 ・現代社会と法 	<ul style="list-style-type: none"> ・国民の権利とは日本国憲法や法律でどのように保障されているのか、また新しく必要とされている権利とはどのようなものなのかを学ぶ。 			
《第2回定期試験》					
9	現代の経済と国民福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・経済のしくみ ・変化する日本経済 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義の特色とその課題について、現在の日本経済を中心に学ぶ。 ・政府が行う財政政策、日本銀行が行う金融政策を学ぶことを通して、政府や日本銀行が何を目的としてそのような政策を行うのか、その成果と課題を理解することをめざす。 ・戦後の日本経済を学び、農業や中小企業など日本の産業が抱える問題点を明らかにします。消費者・労働者・社会保障を学ぶことを通し、自らが社会に出た際、どのようなことに問題意識を持つべきかを学ぶ。 			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな生活の実現 				
11	国際社会と人類の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の仕組みと動向 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済の基礎を学び、現在の国際経済が、国際政治とも密接にかかわっていることを学ぶ。 			
12	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会の現状と課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて考える機会が多くなっている、国際社会における日本の果たすべき役割について学ぶ。 			
副教材	『要点マスター現代社会』東京書籍 『新版最新現代社会資料集2019』第一学習社				